

月例報告書 (2 月分)

留学先大学：ラトガース大学

氏名：アルマゾフ ゲルディミラット

2022 年 3 月 5 日

アメリカについてから 1 か月以上経ちました。様々な刺激、驚きが非常に多くあり、どこから話せばいいかわかりませんが、まずは授業のことから書けばいいでしょう。アメリカへの留学をするために、最低でも 12 単位 (授業 4 つ分) が求められていますが、私の場合はアメリカでの留学を学ぶための大きな機会と捉えたので最初は 15 単位を登録しました。しかし、渡航後、様々な国からの留学生と話したら、ほとんどが 12 単位に収めていることを知り、また自分でも 15 単位がなかなか難しいと感じ、1 つの授業を取り消しました。残念に思う時はありますが、その分少し余裕ができ、学生生活をもっと楽しめるでしょう。勉強にできた隙間にラトガース大学のサークル活動や様々なイベントに参加したりして、友だちを作る機会を増やしています。日本のアニメ、漫画や映画などの日本文化や日本語、また日本全体に興味を持った人の集いのようなサークルも多いです。私も実際にその一つである RJSA に入会し、既にたくさんの知り合いを作りました。同じ興味ばかりの人だけではなく、出身や宗教、学部などが全く違う人とでも容易に友達になれるところは、「アメリカだなあ」とすぐに思ってしまう。ラトガース大学は毎日多数のイベントが開催される上、サークルも 800 個以上あり、どのようなものやことに興味があろうとも仲間を見つけられるので学生生活が一層楽しいです。

授業に関しては、現在私が履修しているのはマーケティング関係の二つの授業 (Consumer Behavior と Marketing for Entrepreneurs and Small Businesses) と供給連鎖管理入門 (Introduction to Supply Chain Management)、そしてアメリカ学入門 (Introduction to American Studies) です。ビジネスにもともと興味が強く、留学できた機会を最大に活かしたく、ビジネス関係で強いラトガース大学でマーケティングとサプライチェーンを履修して、せっかくアメリカに留学しているからアメリカそのものに関わる授業も取らないといけないと思い、アメリカ学入門を履修しました。日本の授業形式が大きく違い、先生の講演よりディベート形式で開講される授業がほとんどで、学生たちが常に積極的にコメントを加えたり、質問を聞いたり、反論をしたりするため、多面的に考える習慣が自然に身に付きますし、黙って聞くより思ったことをそのまま言えるので解放感も感じられます。また何より授業の理解度が高まるので、授業がいつも楽しいです。加えて、私が留学前に想像していたアメリカでの勉強—講義を聞いて終わりという形ではなく、大学から帰り長い文章を読み、自分で色々情報を調べる—というイメージが現実に近かったです。講義の内容が非常に濃いにも関わらず、読まなければならない文の量が多く、最初は大変でした。

週末になったら、キャンパス内外にまたパーティーやイベントが多く、退屈になりません（なれません）。その上、私のルームメイト（スペイン人1人と香港人2人）が観光を非常に好きで、またとても陽気な人柄を持った人なので、私が隔週旅行に誘われて、ニュージャージー州を出て周りの州や街で観光をしています。既にワシントンD.C.、ボストン、ニューヨークとフィラデルフィアを訪れました。アメリカがいかに多様多彩な国、いかにカラフルで先進した国か、わかります。また、いかに物価の高い、サイズのでかい国かも州間の移動を考える時から感じてしまいます。移動が高く、えらい時間がかかるので、アメリカで観光を考えるのであれば考慮すればいいでしょう。そして来週から春休みが始まるということで、ルームメイトと別々になりますが、また観光をしに行く予定です。

1月は非常に寒かったものの、2月から徐々に暖かくなりつつありましたが、たまにまるで春のように暖かい天気が訪れ、でもその直後また極寒になり、天気が不安定です。でも毎日曇っている福井に住んでいた私からしたら、雨があまり降らないことが何よりの幸いです。（笑）

毎日楽しい生活を送っています。アメリカは長所も短所もありますが、大学からすればとても楽しいです。これからもここでの滞在を充実し続けたいと思います。2月に撮った数枚の写真を添付しちゃいます。



